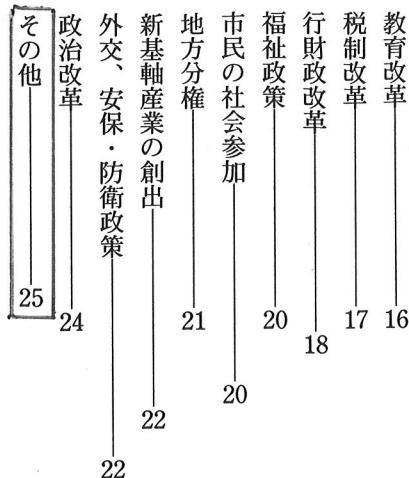


羽田孜著 「これで始める日本再生プログラム」
1996年8月24日 同文書院発行 より抜粋



はじめに

羽田孜

... 略 ...

情報の世界でも日本は孤立しそうな気配がある。これから世界で最も重要な日本と世界を結ぶ光情報回線は、大半がアメリカ経由であるという現実がある。この情報ネットワークの偏りを正し、望ましい世界を構築するために、アジア各国との直通回線の増強、北極海経由の欧州直行光回線の敷設などを積極的に進める道を検討している。

また、議論されては消えてきた「日韓トンネル」構想についても、真剣に考えるべきだろう。英・仏を結ぶトンネルはすでに開通し、デンマークとスウェーデンを結ぶ世界一の長大橋、そしてトンネルの建設はすでに始まっている。日本から、韓国、ロシアを経てヨーロッパとつながる。日本はもう孤島である必要はない。この構想について検討を始めるなどを提言していきたい。これらの世界の平和の実現のためには、世界の人々とのより円滑なコミュニケーションも必須である。こういった国際的なインフラストラクチャーの建設は、二十一世紀の世界に欠かせない。

〔その他〕

- (1)大陸との一体化を図り、平和と繁栄を恒久的なものとしていくため、「日韓トンネル」「日ロトンネル」構想の実現について検討していく。
- (2)薬害エイズに象徴されるような、情報公開の不徹底による社会問題を一度とおこさないために、情報公開を徹底して推進する。官庁以外の、民間による新しい政策立案機関の存在を容易に可能とする。